

2025年1月30日

省エネ大賞「経済産業大臣賞」2年連続受賞

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市、代表取締役・社長：松尾勝博）の富士松工場は、2024年度省エネ大賞*において、最上位の経済産業大臣賞を受賞しました。同賞の受賞は2年連続になります。

今回受賞したテーマ：「現場の意識改革と見える化によるエネルギーの日常管理活動」は、効果が後戻りしやすい省エネ活動を、意識改革とシステム化により定着化させたことが評価されました。

具体的には、生産現場自らがエネルギー管理に責任を持ち、現場監督者が主体となってエネルギーの使い過ぎを自動判定・通知するシステムを構築することで、無理なく続けられる日常管理の仕組みを定着させました。その結果、エネルギー使用量を削減することができました。

今回は自動車工場の中でもエネルギー使用量が最も多い塗装工程で取り組んできましたが、今後はこの取り組みを他工程にも展開していきます。

トヨタ車体は今後も全員参加の省エネ活動に取り組み、2035年のカーボンニュートラル達成、さらに2050年までに工場CO₂排出量ゼロ達成に向け、取り組みを進めてまいります。

*省エネ大賞：一般財団法人省エネルギーセンターが主催し、企業や自治体などにおける優れた省エネ活動や、省エネ性に優れた製品やビジネスモデルを表彰

<受賞概要> 2024年度省エネ大賞 省エネ事例部門

- ・表彰種別 経済産業大臣賞（小集団活動分野）
- ・受賞者名 トヨタ車体 富士松工場
- ・テーマ名 現場の意識改革と見える化によるエネルギーの日常管理活動

世界のくらしに 笑顔をお届けたい

